

【2】 生徒の実態

1. 生徒の実態

表1 高等部生徒の実態

学年	生徒数		主な障害	本校への入学時期
	男	女		
1年	5	3	・自閉的傾向	・ダウントン症候群
	8		・てんかん	・内分泌疾患
2年	4	5	・ダウントン症候群	・プラダウィリー
	9		・2q-1症候群	・水頭症
3年	8	1	・孔脳症	・自閉症
	9		・ウィリアムス症候群	・てんかん
計	17	9	入学時期	小学部→10名 中学部→7名 高等部→9名
		26		

高等部は1学年1学級制である。今年度の高等部は26名の生徒で編成されている。そのうち男子が17名、女子が9名と男子の生徒数の多い構成になっている。

2. 生活マップによる生徒の実態

家庭を中心とした生徒の生活の様子を調べた「生活マップ」をまとめると、表2のようになる。帰宅後や休日の過ごし方をみてみると、保護者と一緒に、または一人で、魚釣り・散歩等の余暇活動を楽しんでいると見られる生徒がいる反面、普段の学校での生活で見られるその生徒の持っている力に比べて行動範囲が狭く、充実した家庭生活を送っているか疑問に感じられる生徒も多く見られる。

表2 生活マップのまとめ(高等部)

生徒	学校まで	スーパー	病院	その他
A	徒歩	○	○	自販機 公園
B	徒歩	○		図書館 書店
C	車	○	○	祖父母宅 交流センター
D	汽車・バス	週1	○	祖父母宅:月2 鳥取市内:週1
E	バス			教会:月1 学習室:月2
F	車	○	○	コンビニ ブール
G	車・バス	○		理髪店:月1 レンタルショップ:月1 自販機:月1 祖母宅:月1 果樹園:月4 JR構内駅周辺:毎日
H	バス	○	○	自宅周辺 パン屋:月2 祖父母宅
I	バス	○	1ヶ月1回	散髪屋 公園 祖父母宅
J	汽車・バス	週1		コンビニ 友達宅
K	汽車	月2		ブール:週4 自販機:月2
L	汽車・バス	○		漁(魚釣り) コンビニ 図書館 ブール 100円ショップ 祖父母宅 自販機 家庭アクトドア
M	バス	月4		個人商店:週1 書店:月1
N	バス	週1		公園:週1
O	バス	○		ブール:月3 ポケモン:月2 公園 自販機 レンタルショップ:月3 コンビニ
P	バス	○	○	図書館:月1 自販機 祖父母宅
Q	バス	○		自販機 友だちの家:月2
R	バス	○		祖父母宅 友達宅 レンタルショップ 頭痛 祖父母宅 あさひ園 交渉センター
S	汽車・バス	○		本屋 自販機 会社 図書館
T	徒歩	○	○	ジオ体操 馬のこころ 交流センター 回観映画をうついて ポスト本屋 パン屋
U	バス	○		神社:月2 田畠
V	バス	○	○	自販機:週2 公園:週1
W	バス	○	○	図書館 自販機 祖父宅 教会
X	バス	○	○	友達宅 祖父母宅
Y	バス	毎日	○	商店:週2 祖父母宅 散髪屋
Z	汽車			自販機 祖父母宅 作業所

* (○は行き先のみの記入で、どのくらいの割合で行くのか記入のないもの)

3. 自分づくりの段階表による生徒の実態

本校では、生徒の発達を「自分づくり」を中心にしてみていくと「自分づくりの段階表」を作成している。その段階表に本年度の生徒を当てはめてみると、表3のようになる。自分づくりの段階表の具体的な姿からみると、自分の思いを言葉や態度で表す段階の生徒が2名、「~だけど~しよう」という風に自我をコントロールできる、またはできつつある段階の生徒が16名、自分をとりまく周りとの関係を意識し、自分を見つめ直すことや自分の活動に見通しを持つことができる、またはでき始めている生徒が8名いる。

表3 自分づくりの段階表(高等部)

M A 1 : 6	自分づくりの段階	具体的な姿	めざす楽しさ	大切なこと・支援	見遣・生徒の段階
2 : 0	自我の自己超越 自我の拡大期	感情・意象の育ち（自分） 手のことを思ふ気持ちの育成（自他の分化）	自分の思いを自動で伝えようと する。 他者を見つめたり、相手のことを思ふ気持ちの育成（自他の分化）	援助を受けながら自分の好きなこ とで取り組む。	思いを引き出すために2～3の具体的な活動を準備したり、声かけを したがる。
2 : 6	自我の充実期	もう一人の自分の育成（じじゅ）（自己の形成）	自分の思いを自動で伝えようと する。 選択肢の中から「～ではないへ だ」という自分の思いを持つ。	いろいろなことに取り組みながら 好きなことを増やす。 少し先のことを楽しみにする。	好きな活動を準備し、時間を確保す る。 本人の伝たいことをくみ取る。 ルールのある遊びのする。 少し先の本人の好きな活動を具体的 に話す。「～」が「もう一回」という 意欲によるようにする。 いくつかの具体的な選択肢を準備す る。
3 : 0	自我と自己主張の矛盾 拡大の時期	自尊心の芽生えの時期 自己肯定感がまん～	手で自分の自分のできは 手でできるかな」という思いを持 つ	周囲の状況や評価を少しは意識 して、自分なりに活動する。	手の道具を分かりやすく準備する。 目標に沿ったことを話し、今の活動をが んばるよう前かがみにする。 少しあとの具体的な選択肢を準備す る。 本人の意欲を大事にしながら、その 思いを活動に生かす。
3 : 6	自尊心の芽生えの時期 自己肯定感がまん～	自尊心の芽生えの時期 自己肯定感がまん～	自尊心コントロールでき るよう自分の自分の対応のほうにはじまり	周囲の状況や評価を意識して、自 分なりに活動する。 少し先のことを楽しみにしながら 今を頑張る。	手の道具を分かりやすく準備する。 目標に沿ったことを話し、今の活動をが んばるよう前かがみにする。 少しあとの具体的な選択肢を準備す る。 本人の意欲を大事にしながら、その 思いを活動に生かす。
4 : 6	自信心の形成期 ～「できることがない」 の理解と裏面	自尊心の形成期 ～「できることがない」 の理解と裏面	成功・失敗とい ううまくいかないと選げてしま う	他者を見つめたり、相 手のことを思ふ気持ちの 育成（じじゅ）（自己の形成）	本人なりののがんばり（よさ）を認め る。他者からの評価にこだわ ず、自分で行動する。 ・場に自分の気持ちをコ ントロールしながら活動をする。
5 : 6	自己成長期の時期	自分づくりの始まり 自分や他の視点が変化する 時間。年少の他者を尊 重しながら教へる関 係。年長の他者への信 頼	自分づくりの始まり 自分との対話 過去の自分と向きあ う。過去の土台の上 にある今を頑張る。	「もっと～～したほうがよい。だ からがんばろう」と意欲を燃 かせたり先に見えよう努力す る。 ・相手をもつて見通しをも つて、自分自身の前に進む こと。 ・たどえ自分が前に進むくとも、 これまでが成功したこと。 ・自分の自分と過去の自 己との対話 過ぎた今を前にして活動を続ける ことができる。	・集団の中での自分の立場が分かれ り。者をはじっくり聞いて、待つ。 ・集団の中で、役割を持って活動する ・役割を負うことで喜びを持つ。 ・かなり先のこと、見通しを持って段取 りをする。 ・自分のことをまとめて、見通しを持 ち回りの状況に合わせながら活 動をする。
9 : 0	自己成長期の時期	自分や他の視点が変化する 時間。年少の他者を尊 重しながら教へる関 係。年長の他者への信 頼	自分としての自分の気づ きから、自分の現れ自分で への気づきへ い高齢の土台～	・運転をイメージしながら「～ だから～～」と論理的のある考 え方を持つ。 ・相手の立場を考えたり、自分自 身の立場を見直したりできる。	・一人の仲間として、理想像、価値觀 等について語る。 ・自分の得手不得手を知り、自分自 身に工夫と努力をする。

(西尾敏枝)